

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	一般社団法人アトリエ虹色たまご	
代表者名	代表理事 熊谷ふき子	
連絡先	TEL : 022-371-8318 09072697779 FAX : 022-371-8318	E-mail nijitama@a1.rimnet.ne.jp

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	第 5 回作品展 ＜児童～高齢者、障がい者、一般成人の臨床美術＞ 2023 年 5 月 23 日～28 日 東北電力グリーンプラザ アクアホールにて
事業の目的	・ 児童～高齢者、障がい者、一般成人まで季節や生活の中にある美や面白さや楽しさを臨床美術や独自の感性作品を展示発表をする ・ 視覚、肢体、知的障害の有無を問わず作品を通し理解を深め市民との交流を図る ・ 出品者の励みと臨床美術士の研鑽の場とし活動の普及を図る ・ ワークショップとミニコンサートを開催する ・ 会場に来れない出品者に市民の感想を届ける
事業の具体的内容	・ 作品展参加募集により各施設、団体数 14 作品展示 水彩画、オイルパステル画、小立体作品数 300 点 ・ 虹たま教室開催（ワークショップ） 視覚障害者センター 5 名 若林児童館 15 名 古城児童館 15 名 キッズベース民間児童館 4 名 なでしこ就労支援 30 名 ・ ミニコンサート 見て聞いて楽しんで ヒーリングハーブ演奏、お琴教室演奏（子供と成人） 5 月 28 日各 40 分程度演奏をし鑑賞する

	・ワークショップ実施（会場内にてオイルパステル画） 5月24日 5名 26日 6名 ・障がい者施設でのアート教室の開催を進める ・障がい者を知る、寄り添うとは何かを問う研修会を重ねる
活動の開始から完了までの流れ	・令和4年11月第5回作品展開催実施案を作成 同5年1月・・・研修会4月22日開催準備 「障がい者を知る、障がい者に寄り添う事を知る」 2月・・・第5回作品展へ参加募集を告知（各施設等へ） - 虹たま教室 キッズベース（小枝のリース） 3月・・・講演会告知 4月・・・ポスター制作依頼と後援依頼 22日 研修会 旭が丘市民センター 16名 25日 虹たま教室 視覚障害者センター5名 5月・・・8日参加施設、団体事前打ち合わせ 搬入、搬出、展示、係等 各報道機関へ告知、PR開始 13日 虹たま教室 若林児童館 15名 16日 虹たま教室 なでしこ就労支援 30名 20日 虹たま教室 古城児童館 13名 22日 作品展搬入 会場設営、展示 23日～28日 アクアホールにて展示発表 24日・26日ワークショップ実施 計10名 28日 ミニコンサート開催、搬出 6月・・・5日 反省会 17日 なでしこ感謝祭 出店参加 7月・・・作品展決算報告と活動報告（虹たま通信発行）
活動の成果と教訓	・来場者数876名の方が有り高評価を得た ・14の参加施設、団体となり個々のプログラム作品の展示が出来色彩や創意に好評だった アクアホールの空間を生かし見て聞いて楽しんでのミニコンサートも開催できた ・視覚障害者や高齢者デイサービス、就労支援の方々のオイルパステル画や立体作品の来場者の反響や感想が多く聞けた ・臨床美術士間の意見交流ができ良い機会だった ・高齢者施設や障がい者施設の利用者がアートに触れ創作意欲があっても経済的な事等で実現が困難である施設側との共通理解を深めたい ・身障者が安全に来場できるよう交通手段やビル内等早急のバリアフリーを望む

今後の展望など	・ 児童～高齢者、身障者に対し身近なアートに触れ楽しむ場をより多く提供していきたい ・ 虹たまの普及を図る為、作品展、講演会、ワークショップを継続をし発信を続ける ・ 臨床美術士と異種の臨床師との異職種交流を通し知見を広め活動に生かす ・ 資金運用が各方面で困難な昨今、企業や公共機関に働き掛け理解を得たい ・ 視覚障害者に特化したアートプログラムの開発と研究をし表現活動の幅を広げる ・ 誰でも利用可能な創作の拠点を構築したい
---------	---

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	90,000	みやぎ生協
他機関助成金	0	
自己資金	91,417	虹たま予算から
合計	181,417	

■ 支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
ワークショップ (無料体験教室)	(助成)材料費	16,606	164,811
研修会費	(助成)3月22日 講師謝礼	20,000	144,811
印刷費	ポスター、チラシ、ポストカード印刷 デザイン料	48,401	96,410
通信費	切手 郵送代	4,999	91,411
虹たま教室	(助成)アイサポート、若林、古城児童館、なでしこ就労支援、キッズベース メインとサブリーダー	19,500	71,911
作品展会場設営費	(助成) 白ボール紙、ボード クリップボード 打合せ会場費、手伝い	13,318	58,593
交通費	ミニコンサート (助成) 東京仙台往復× 1名分 虹たま教室各会場往復	32,200 17,900 14,300	26,393

事務費	芳名帳、レターケース お茶、ペン、クリアバックホルダー、ルーター代	21,954	4,439
作品輸送費	梱包代 送料	4,439	0
合計		181,417	0

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー（郵送）

③ 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送）

*写真は郵送とメールで送ってください。



第5回

作品展

<児童～成人、高齢者、障がい者の臨床美術>

【会場】

東北電力グリーンプラザ
アクアホール

【日時】

5/23(火)～5/28(日)
10:00～18:00 ※最終日16:00

【ミニコンサート】

竖琴

琴

5/27(土)

5/28(日)

14:00～14:40

14:00～14:40



主催 一般社団法人 アトリエ虹色たまご
問い合わせ ☎ 022-371-8318 (熊谷)

助成 みやぎ生協福祉活動助成金 / 公益財団法人宮城県文化振興財団

後援 仙台市教育委員会 / 河北新報社 / 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
NHK 仙台放送局 / 特定非営利法人 日本臨床美術協会

参加団体 キッズベース / 古城児童館 / 若林児童館 / 絵画クラブ / アートサロン / 地域生き生き研究会
放課後等デイサービスそらみ / 臨床美術士 / あしたば白石 / アイサポート仙台
みやぎ臨床美術とつながる会 / 心と脳に良いアートサークル / 高齢者生きがい活動

＼CHECK!／
アトリエ虹色たまご ブログ



第5回作品展

児童～高齢者、障がい者の臨床美術 作品展

各施設団体作品展示

臨床美術士作品展示

参加募集

主催 一般社団法人アトリエ虹色たまご

代表理事 熊谷ふき子

連絡先

〒981-3111 仙台市泉区松森字鹿島49-12

TEL 022-371-8318 09072697779

e-mail nijitama@a1.rimnet.ne.jp

<https://blog.canpan.info/nijitama/>

第5回作品 日時 2023年 5月23日（火）～28日（日）10時～18時（最終日16時）

展概要 会場 東北電力グリーンプラザ アクアホール

参加費無料 1 目的

① 児童～高齢者、障がい者、一般成人を対象に季節の生活美や面白さを

臨床美術また独自の感性作品を展示発表をする

② コロナ禍で人との交流が難しい中アートセラピーを体験し各施設の参加者の励み

となり、作品を通し多くの方々と季節感や日常の交流を図る

③ 臨床美術の普及と臨床美術士の研鑽の場とする

2 展示内容

① 参加施設… 8施設～10施設（絵画、立体小作品 約120点～150点）

② 臨床美術士… 20点～30点（絵画、立体作品 ひとり1点）

③ ミニコンサート… 箏、竖琴、ブラスアンサンブルの演奏（土、日、午後）

④ ワークショップ開催… 会期中2回予定

申し込み方法

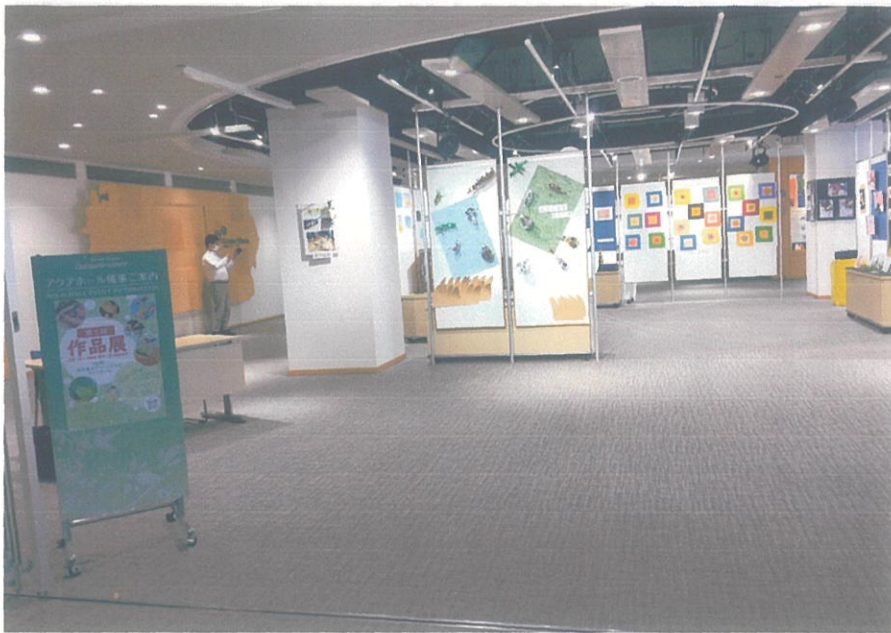
★ メール、ブログ、電話で熊谷までご連絡下さい

★ 〆切日 5月7日 参加団体との打ち合わせ 5月8日予定

★ 5月22日作品直接搬入、13時～16時（出品名、氏名、住所明記）

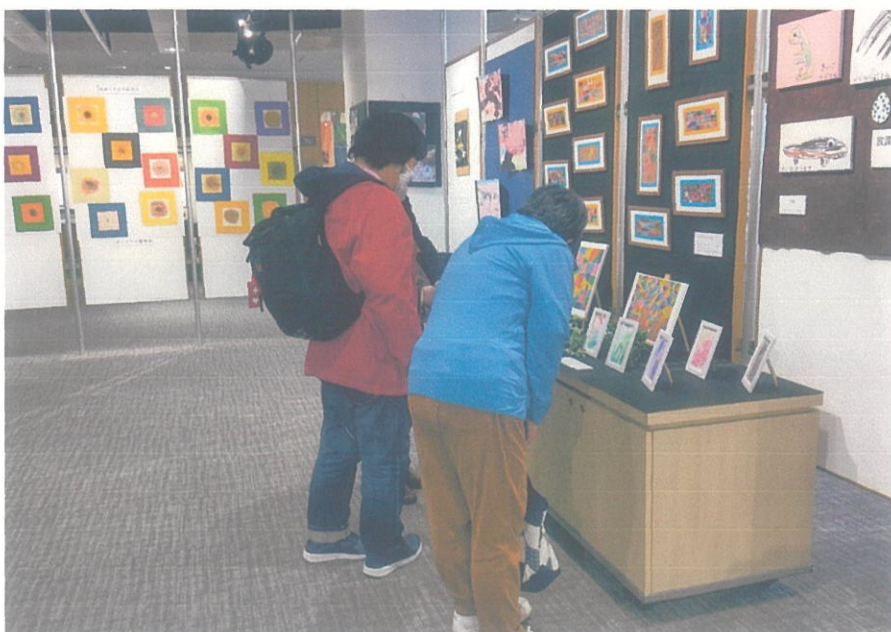
★ 展示は出品数に応じ構成をする（題材自由）

★ 5月28日作品直接搬出、16時



作品展会場

視覚障害者センター
アイサポート仙台



展示風景



5/28
≡コンサート
＜さくらお琴教室＞

5/28
ヒーリングギター演奏



7-7シスター 5/26

2023.5/25

河北新報 18面掲載

第5回作品展

創作活動を通じて認知機能の向上や心の安定化を図る「臨床美術」の作品展が23日、仙台市青葉区の東北電力グリーンプラザで始まった。県内の福祉施設の利用者や小学生の作品約300点が並ぶ。28日まで。定期的に障害者施設や高齢者福祉施設などで臨床美術教室を開いている泉区の一般社団法人「アトリエ虹色たまご」主催。14団体の100人以上が出席した。高齢者が独自の発想を交えて写生したガーベラの花の絵や、目が不自由な人が手の感覚を頼りに、皮の織

創作の喜び 作品に込め

仙台 臨床美術展 28日まで



自分の作品をうれしそうに眺める作者

維まで再現したタケノコの立体作品などが飾られた。代表理事の熊谷ふみ子さんは「同じモチーフの作品でも一つずつ表情は違う。作品を通じて作者の人格や完成時の晴れやかな気持ちまで想像してほしい」とほほ笑んだ。開場は午前10時～午後6時（最終日は午後4時）。入場無料。

2023.5/19付

Friday >>> みやぎ

読売新聞 告知

フリーみやぎ ペット&レジャー掲載

* ギャラリー *

●花の絵画展 21日まで、青葉区五橋・カメイ美術館。500円。28日まで「東北の伝統こけし」展も開催中。23日以降300円。いずれも65歳以上・中学生以下無料。月曜休館。022・264・6543。

●大場尚文展 作画65年「心象観測―内視―」 21日まで、太白区秋保町・秋保の杜佐々木美術館&人形館。800円、高・大・専門学校生400円、中学生以下無料。022・797・9520。

●第5回作品展<児童～成人、高齢者、障がい者の臨床美術> 23日～28日、青葉区一番町・東北電力グリーンプラザアクアホール。紙粘土、水彩画など。熊谷さん022・371・8318。

●武者人形展 23日まで、白石市城北町・白石・人形の蔵。400円、小中高生200円。0224・26・1475。